# CASBEE®-建築(新築)　評価結果

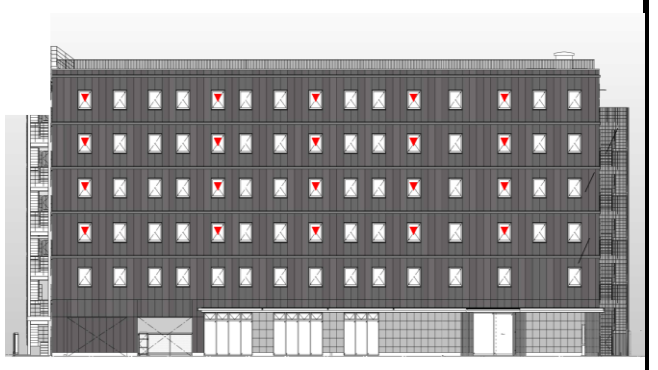
■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2024年版　I使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

## 1-1 建物概要

| | |
|---|---|
| 建物名称 | 平塚市宝町プロジェクト |
| 建設地 | 神奈川県平塚市宝町7-2　他3筆 |
| 用途地域 | 商業地域・防火地域 |
| 地域区分 | 6地域 |
| 建物用途 | ホテル, |
| 竣工年 | 2028年5月　予定 |
| 敷地面積 | 943 ㎡ |
| 建築面積 | 617 ㎡ |
| 延床面積 | 3,589 ㎡ |

| | |
|---|---|
| 階数 | 地上6F |
| 構造 | S造 |
| 平均居住人員 | 185　人 |
| 年間使用時間 | 8,760　時間/年（想定値） |
| 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 評価の実施日 | 2026年8月10日 |
| 作成者 | 大和ハウス工業㈱南関東建築系一級建築士事務所 |
| 確認日 | 2026年8月18日 |
| 確認者 | 大和ハウス工業㈱南関東建築系一級建築士事務所 |

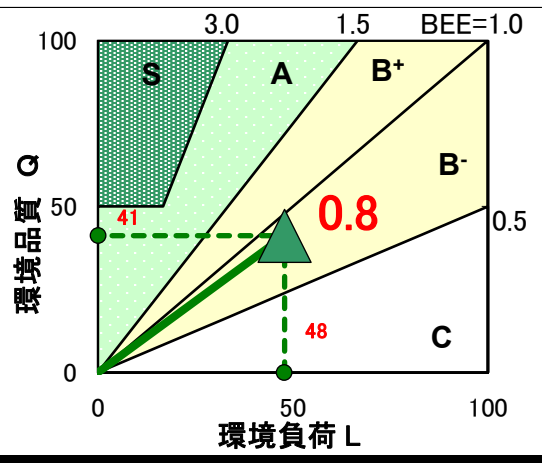
## 1-2 外観



## 2-1 建築物の環境効率（BEEﾗﾝｸ&ﾁｬｰﾄ）

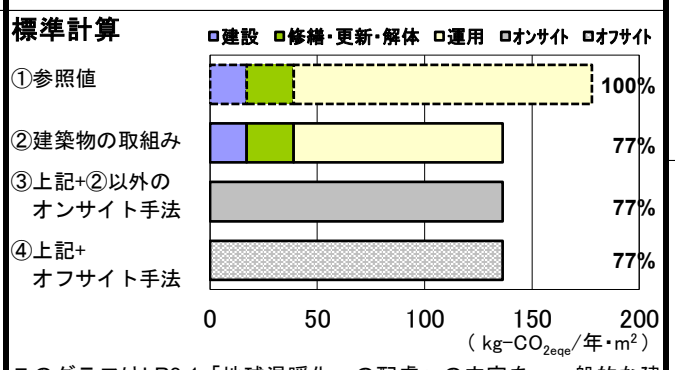
BEE =0.8

S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★



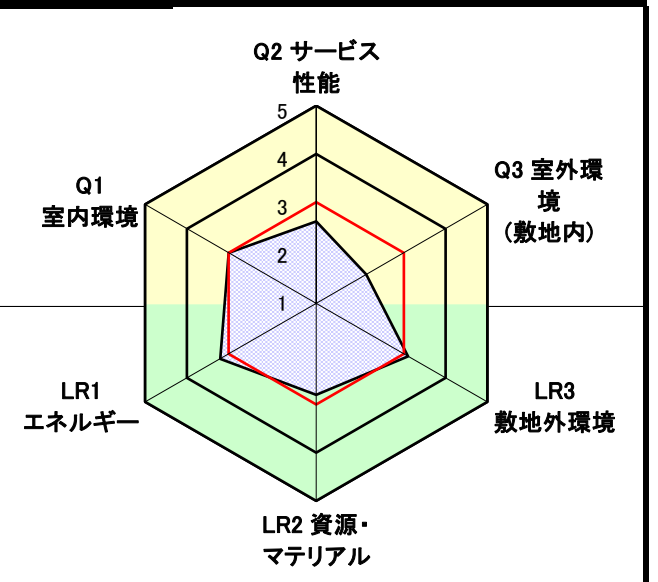

## 2-2 ホールライフカーボン（温暖化影響ﾁｬｰﾄ）

30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆




このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたWLC 排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

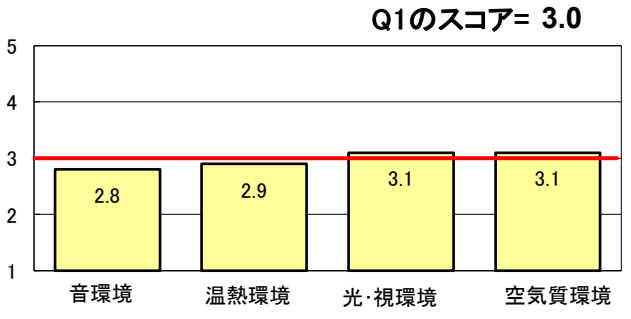
## 2-3 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



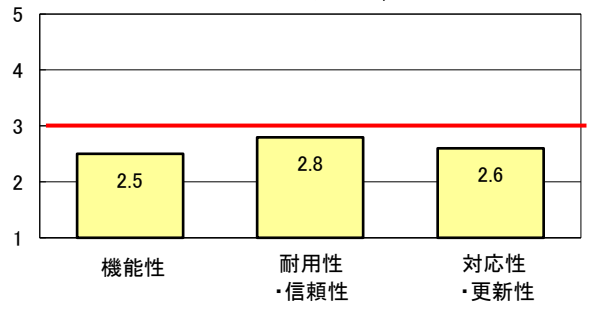

## 2-4 中項目の評価（バーチャート）

### Q 環境品質　　Q のスコア= 2.6

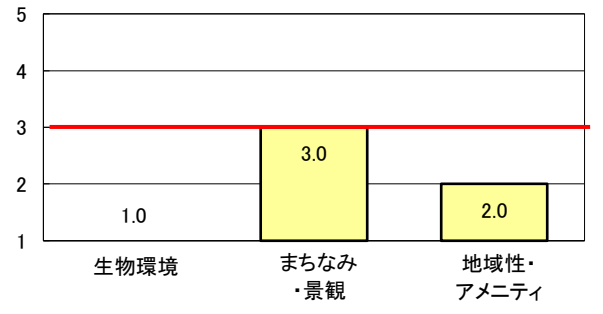
**Q1 室内環境**　Q1のスコア= 3.0




**Q2 サービス性能**　Q2のスコア= 2.6

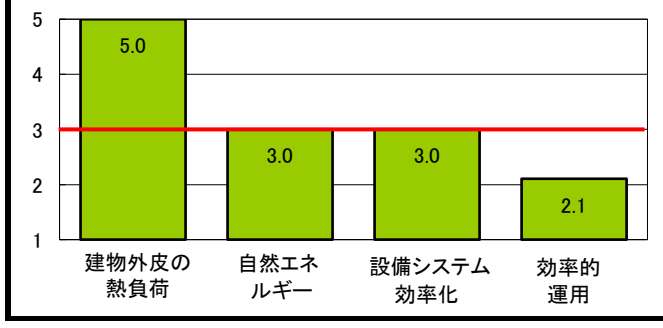



**Q3 室外環境（敷地内）**　Q3のスコア= 2.1

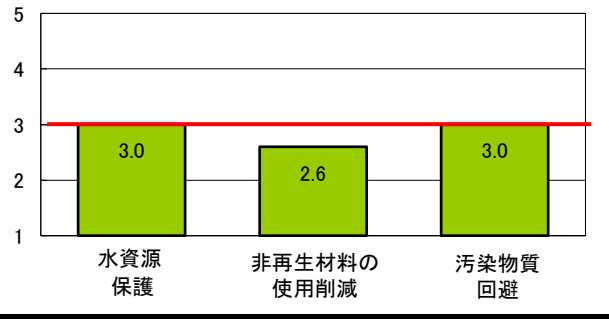



### LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.0

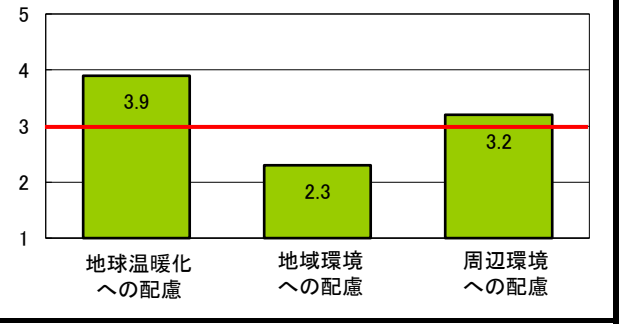
**LR1 エネルギー**　LR1のスコア= 3.2




**LR2 資源・マテリアル**　LR2のスコア= 2.8




**LR3 敷地外環境**　LR3のスコア= 3.1




## 3 設計上の配慮事項

| 総合 | その他 |
|---|---|
| 平塚駅から徒歩で約2分の商業地域にホテルを計画した。 | 特になし。 |

| Q1 室内環境 | Q2 サービス性能 | Q3 室外環境（敷地内） |
|---|---|---|
| ブラインドによりグレアを制御<br>自然換気有効開口面積が居室床面積の1/10以上。 | 特になし。 | 特になし。 |

| LR1 エネルギー | LR2 資源・マテリアル | LR3 敷地外環境 |
|---|---|---|
| BPIm = 0.78 | 「躯体＋軽鉄＋仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能 | ホールライフカーボン排出率77%<br>光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ホールライフカーボン（WLC）」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される